

# FDR・フレンディア

## 大丸 智里 社長

水素発生スティック「ドクター・水素水」を通販などで販売してきたFDR・フレンディア(本社東京都、大丸智里社長、☎03-5728-0132)は、創業以来28年にわたって、水素水の有効性・安全性に関する研究を続け、自社だけで30報にも及ぶエビデンスデータを蓄積してきた。水素水に関して同社が把握しているデータの数は328報にも及ぶという「それなのに『水素水に根拠なし』『水素水はただの水』などと言われるのは極めて残念だ」と話す大丸社長に話を聞いた。

昨年12月の国民生活などを機に、水素水に関活センターの発表や、今するネガティブな報道が年3月の水素関連3社の続いているが、景品表示法に基づく処分 大丸 水素水の安全性



データが出て、糖尿病、動脈硬化、肥満、心筋梗塞、パーキンソン病、認知症、アルツハイマー病、肝障害、急性すい臓炎、腎障害、28年の放射線、抗アレルギー、歩みの骨疾患、歯周病など、実中で取得したエビデンスデータが報告されているし、水素水の経口摂取時の安全性についても、短期・長期投与一般毒性、遺伝

素水関連の販売会社の数は、少し前に調べたところでは600社以上に及んでいた。エビデンスを持っていない会社も、持っている会社も、同じようにみられている。前臨床や臨床の試験データを計10報以上持っているところだけが水素水を販売してもかまわないということにすれば、状態、抗酸化効果を表示

素水は過酸化脂質を消去する効果が確認されている。人間のSOD(抗酸化酵素)は40代を超えると下がることが知られているが、水素水の摂取によって2カ月連続で上昇したという論文も発表している。

こうした部分の検証にも取り組み、結果を出している。一連の報道の影響は出ているか。大丸 テレビなどを含めた一連の報道の影響は、当社の累積300万人の購入者にも出ていない。そもそも水素水から離れる人もいるし、人のふんどしで相撲を取る、営業力だけの水素水の会社に顧客が流れてしまうケースもある。

# 創業来28年で30報のデータ蓄積

・有効性に根拠がないとか、そういった報道が続いているが、決してそんなことはない。当社が把握しているだけで、水素水に関する328報の

30報に及んでいる。一般社団法人水素研究会が、水素関連の世界の代表的な学術論文をまとめたところによると、抗酸化作用、メタボリックシンドローム、糖尿病、動脈硬化、肥満、心筋梗塞、パーキンソン病、認知症、アルツハイマー病、肝障害、急性すい臓炎、腎障害、28年の放射線、抗アレルギー、歩みの骨疾患、歯周病など、実中で取得したエビデンスデータが報告されているし、水素水の経口摂取時の安全性についても、短期・長期投与一般毒性、遺伝

30報に及んでいる。一般社団法人水素研究会が、水素関連の世界の代表的な学術論文をまとめたところによると、抗酸化作用、メタボリックシンドローム、糖尿病、動脈硬化、肥満、心筋梗塞、パーキンソン病、認知症、アルツハイマー病、肝障害、急性すい臓炎、腎障害、28年の放射線、抗アレルギー、歩みの骨疾患、歯周病など、実中で取得したエビデンスデータが報告されているし、水素水の経口摂取時の安全性についても、短期・長期投与一般毒性、遺伝

30報に及んでいる。一般社団法人水素研究会が、水素関連の世界の代表的な学術論文をまとめたところによると、抗酸化作用、メタボリックシンドローム、糖尿病、動脈硬化、肥満、心筋梗塞、パーキンソン病、認知症、アルツハイマー病、肝障害、急性すい臓炎、腎障害、28年の放射線、抗アレルギー、歩みの骨疾患、歯周病など、実中で取得したエビデンスデータが報告されているし、水素水の経口摂取時の安全性についても、短期・長期投与一般毒性、遺伝

・有効性に根拠がないとか、そういった報道が続いているが、決してそんなことはない。当社が把握しているだけで、水素水に関する328報の

30報に及んでいる。一般社団法人水素研究会が、水素関連の世界の代表的な学術論文をまとめたところによると、抗酸化作用、メタボリックシンドローム、糖尿病、動脈硬化、肥満、心筋梗塞、パーキンソン病、認知症、アルツハイマー病、肝障害、急性すい臓炎、腎障害、28年の放射線、抗アレルギー、歩みの骨疾患、歯周病など、実中で取得したエビデンスデータが報告されているし、水素水の経口摂取時の安全性についても、短期・長期投与一般毒性、遺伝

30報に及んでいる。一般社団法人水素研究会が、水素関連の世界の代表的な学術論文をまとめたところによると、抗酸化作用、メタボリックシンドローム、糖尿病、動脈硬化、肥満、心筋梗塞、パーキンソン病、認知症、アルツハイマー病、肝障害、急性すい臓炎、腎障害、28年の放射線、抗アレルギー、歩みの骨疾患、歯周病など、実中で取得したエビデンスデータが報告されているし、水素水の経口摂取時の安全性についても、短期・長期投与一般毒性、遺伝

30報に及んでいる。一般社団法人水素研究会が、水素関連の世界の代表的な学術論文をまとめたところによると、抗酸化作用、メタボリックシンドローム、糖尿病、動脈硬化、肥満、心筋梗塞、パーキンソン病、認知症、アルツハイマー病、肝障害、急性すい臓炎、腎障害、28年の放射線、抗アレルギー、歩みの骨疾患、歯周病など、実中で取得したエビデンスデータが報告されているし、水素水の経口摂取時の安全性についても、短期・長期投与一般毒性、遺伝

## 第17回 水関連商品特集

# 水素関連メーカー

大丸 水素水の安全性